



# 尾張旭市 地域福祉計画

第5期地域福祉計画  
第6次地域福祉活動計画  
第2期自殺対策計画  
第2期成年後見制度利用促進計画  
第1期再犯防止推進計画

令和8(2026)～12(2030)年度

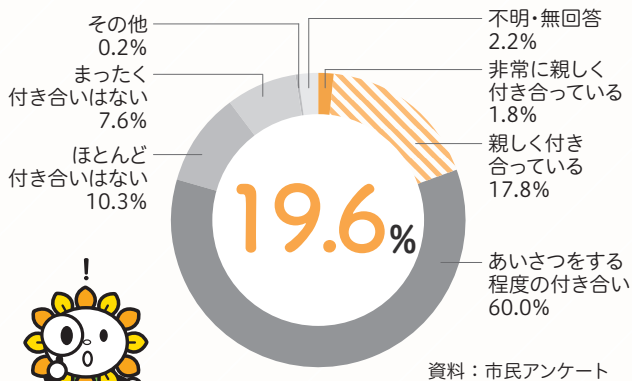
[概要版]

令和8(2026)年3月

尾張旭市・尾張旭市社会福祉協議会

# 尾張旭市の状況を知ろう!

## ● 近所の人と親しく付き合っている市民の割合



特に 20～30 歳代では、付き合いはない人（「ほとんど付き合いはない」と「まったく付き合いはない」の合算）が3割以上となっています。近所付き合いの希薄化が進むと困っている人に気付きにくくなったり、一人で不安を抱え込んでしまう人が増えたりしてしまうよ。

## ● 高齢化率が最も高い校区と最も低い校区の差（令和7(2025)年）

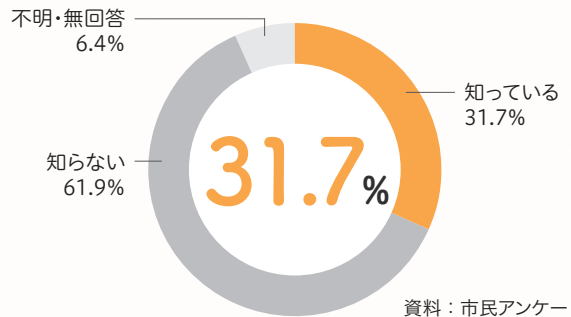
10.9 ポイント

瑞鳳小学校区と旭丘小学校区で 29.2%、渋川小学校区で 18.3%となっています。



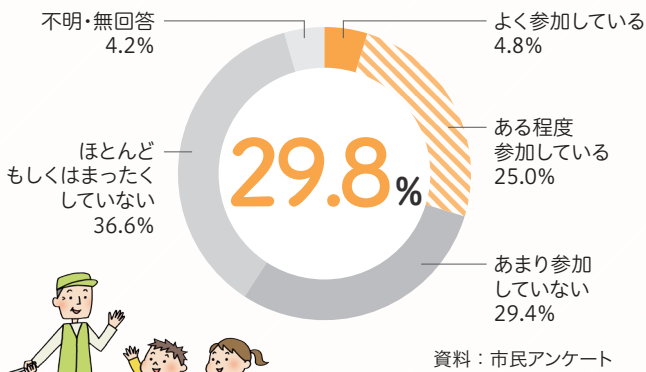
資料：長寿課

## ● 校区社会福祉推進協議会（校区社協）を知っている市民の割合

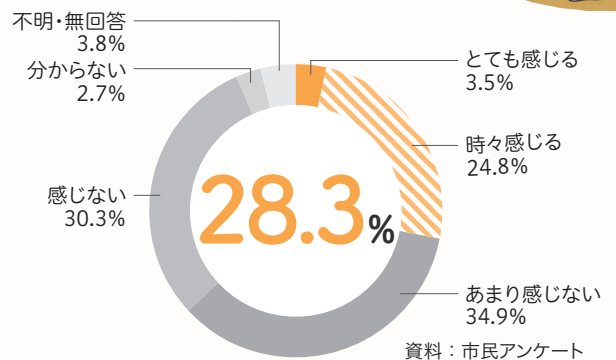


校区社協とは、暮らしの中にある地域の福祉課題に対して、そこで暮らす方々の地域の「つながり」を活かしながら取り組む住民主体の組織です。

## ● 自治会・町内会、子ども会などの地域活動に参加している市民の割合

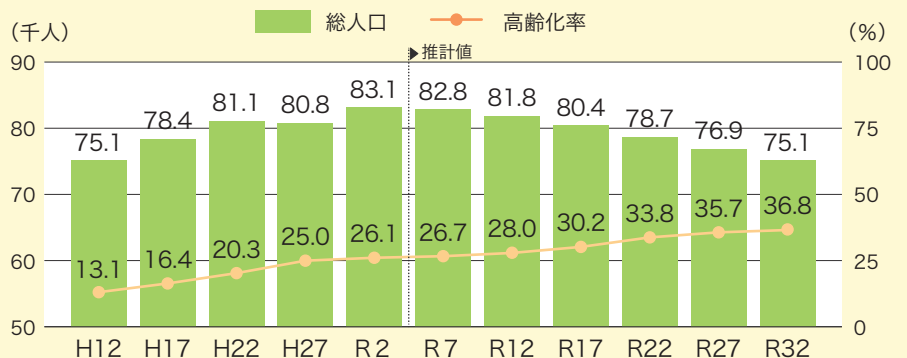


## ● 孤立感や孤独感を感じることもある市民の割合



## 人口減少と少子高齢化

尾張旭市の人口は、令和2（2020）年までは増加傾向にありましたが、今後は減少していくことが見込まれています。一方で、高齢化率は上昇しつづける見込みです。



## ● 生活の悩みや不安を相談できる相手や場所がある市民の割合

84.2%

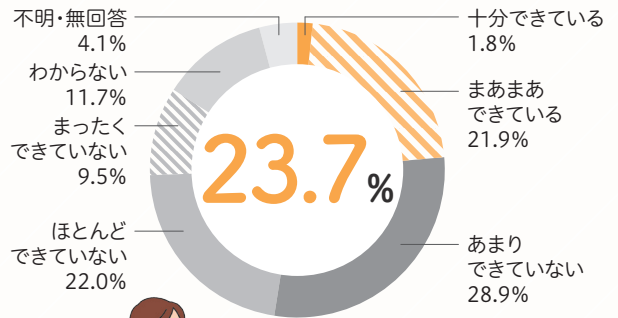
「相談できる人はいない」は4.9%となっています。

（「どこに相談していいかわからない」「相談はしたくない」「不明・無回答」の合計が10.9%）



資料：市民アンケート

## ● 自分にとって必要な福祉サービスの情報を入手できている市民の割合

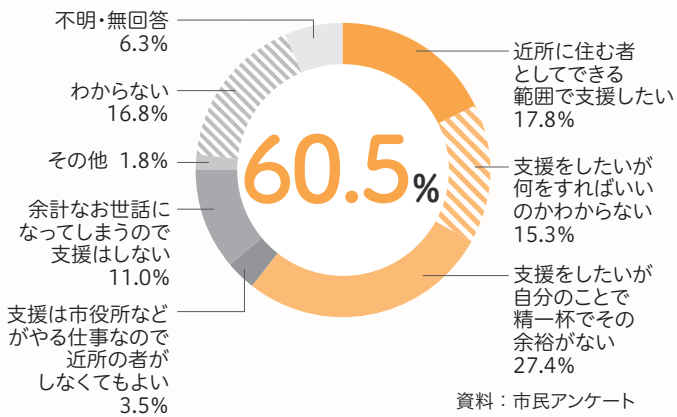


資料：市民アンケート



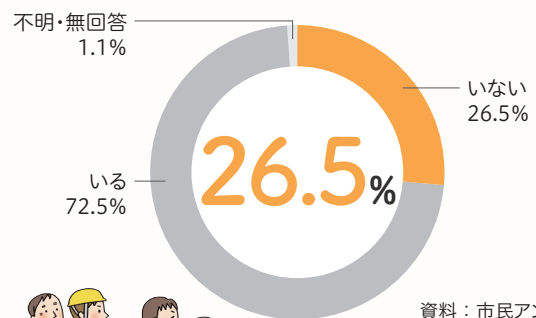
相談先としては家族や友人などの身近な人がほとんどで、近所の人や市役所などの相談窓口は1割未満となっています。もっと気軽に相談窓口などが活用されるといいな。

## ● 近所に支援が必要な人がいた場合支援したいと思っている市民の割合



資料：市民アンケート

## ● 災害時の避難等に助けが必要な人のうち助けてもらえる人がいない市民の割合



資料：市民アンケート



※グラフの構成比は、少数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

支援したいという気持ちがあっても、何をすればいいかわからない人や、自分のことで精一杯という人が多くを占めています。どうしたら無理なく関われるのかな。



みんなで助け合い、協力することが大切です！

## 地域福祉とは・・・

「地域福祉」には、地域に住む誰もが“しあわせな暮らし”を送ることができる地域をつかっていくという意味が込められています。

一人ひとりの“しあわせな暮らし”のためには、家族や友人はもちろん、地域住民や行政、社会福祉協議会（社協）などの様々な人や組織が関わり合いながら、助け合い、協力できる基盤をつかっていくことが大切です。



# めざす姿

今後、少子高齢化や核家族化が進行し、地域の支え合い機能の低下や、福祉課題の多様化・複雑化が予想される中、地域で誰もが生きがいを持ち、暮らすことができる地域共生社会の実現に向け、地域住民、事業者、そして行政、社協がともに連携して様々な施策を推進していくことが重要です。

こういった方向性や「尾張旭市第六次総合計画」のめざすまちの未来像（将来の都市像）「幸せつむぐ笑顔あふれる 尾張旭」などを踏まえ、この計画の推進により達成すべき市の「めざす姿」を次のように設定します。

## 幸せつむぐ とともに生きる 尾張旭



めざす姿を実現するために、5つの基本目標に沿って施策を推進します。次のページから基本目標ごとの取り組みをまとめています。

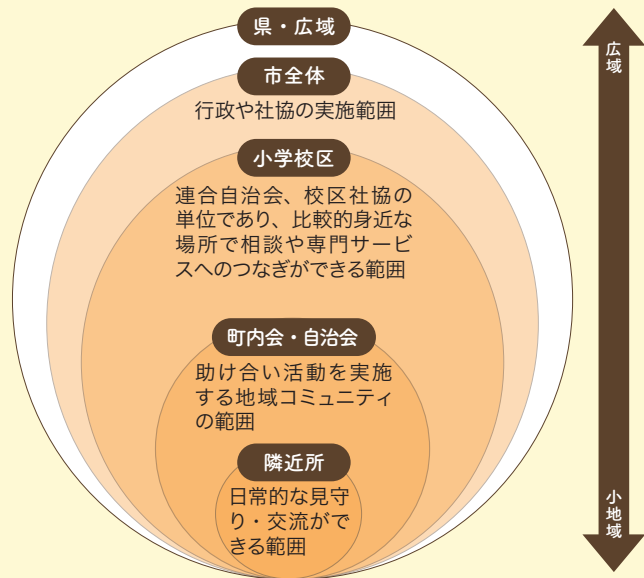
地域福祉について身近に感じられるよう、計画書の本編から抜粋したケースとストーリーを掲載しています。みなも地域福祉について考え、できることから始めよう！

### PICK UP

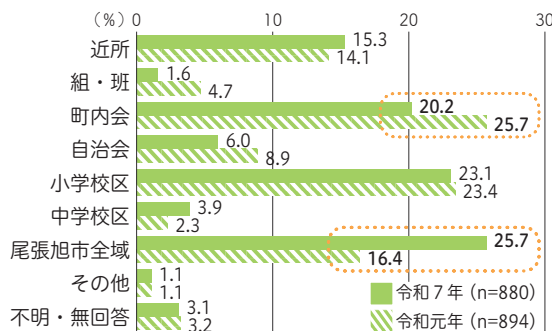
### 地域とは？

地域福祉を進めていく上での「地域」の捉え方は、地域の課題や取組の大きさ、範囲によって、そのときどきで異なります。

隣近所の最も小さな範囲から、市全域、県・広域まで、地域を重層的に捉え、適切な範囲において施策を展開することで、効果的な活動を推進することが大切です。



### Q 「地域」とは、どういった範囲のことだと思いますか



市民アンケート調査によると、市民のみなさんが「地域」ときいてイメージするのは「尾張旭市全域」が最も高くなっています。5年前と比べると、「町内会」が減少し、「尾張旭市全域」高くなっており、「地域」の捉え方が小地域から市全体と広域な範囲に変化していることがわかります。

資料：市民アンケート

# 施策の展開

基本目標



## 地域福祉の担い手づくり

担い手づくり

CASE 01

転入世帯のAさんの場合

普段は福祉のことを意識する機会が少ない



Aさんは共働きで忙しく、日々の生活に追われる中で、地域の福祉について考えることがほとんどありません。こどもの学校では福祉教育があると聞きますが、具体的にどのような内容かはわかっていません。「福祉や地域のことは、特に困りごとがなければ考えなくても大丈夫かな」と漠然と思ってしまいます。近所付き合いもないため、普段の生活では福祉や地域のことを意識する場面はほとんどなく、情報やきっかけがないまま日常が過ぎていきます。

### 行政・社協が取り組むこと

地域の課題解決に向けて地域住民が主体的に取り組む意識を醸成するため、地域福祉に対する理解や関心を高める啓発や福祉教育を充実します。また、地域活動において中心となる人材や支援に関わる人材の確保・育成に取り組むとともに、若者や企業、産業団体など多様な主体の参画を促進し、地域福祉を支える基盤の強化を図ります。

- 取り組み
- 1 「地域福祉」についての意識の醸成
  - 2 担い手の発掘・育成
  - 3 多様な主体の参画促進

### チャレンジ事業

- ボランティア養成講座の充実
- ボランティアサロンの充実
- らくらく筋トレ自主グループの活動支援
- 児童生徒学生の地域福祉活動への参加促進

### しあわせみらいストーリー

Aさんはこどもの学校での福祉教育をきっかけに、地域の情報に関心を持つようになりました。身近な活動を知ること、地域を少しずつ意識できるようになっています。

基本目標



## 隣近所や地域の力による福祉活動の展開

地域づくり

CASE 02

会社員のBさんの場合

日常の制約の中で参加の工夫が必要



Bさんは地域活動に関心がありますが、日中は仕事や子育てで忙しく、決まった日時の活動には参加しにくい状況です。それでも、自分の生活に合わせてできることから関われる仕組みや、負担を抑えた柔軟な参加方法があれば、無理なく地域活動に関わり、こどもや家族との生活とも両立しながら貢献できるのではないかと考えています。

### 行政・社協が取り組むこと

地域のつながりの希薄化が進む中、地域における住民同士のふれあいや支え合い活動を活性化するため、校区社協や市民団体等の活動の支援や、身近な居場所や交流機会の充実を図ります。

- 取り組み
- 1 住民主体の地域福祉活動の推進
  - 2 地域の交流の場や居場所の整備

### チャレンジ事業

- 市民活動支援センター実施事業の充実
- ボランティア登録の促進
- 校区社協への加入促進
- コミュニティ施設、老人いこいの家、公民館の管理・充実
- 各種サロン(ふれあいサロン、子育てサロンなど)の普及
- 自治会などが企画・実施するイベント、行事の支援

### しあわせみらいストーリー

Bさんは休日に家族も一緒に参加できる行事や短時間のボランティア活動を選んで参加しはじめました。負担の少ない関わり方でも、地域の方と交流できる機会を持つことで、「無理なく参加できる」という安心感を得られるようになりました。

## 基本目標 3

# 包括的な支援体制の構築と福祉サービスの充実

## しくみ・体制づくり

### CASE 10

#### 民生委員のEさんの場合

福祉制度やサービスの情報を知るには



民生委員のEさんは、地域を巡回している中で、困りごとを抱えた家庭がいくつもあることに気づきます。しかし、多くの世帯が福祉サービスや支援制度の存在を知らず、相談にもつながっていません。地域には子どもから高齢者、障がいのある人、外国人など様々な人が暮らしています。それぞれに合った情報の入手方法があればいいのにと感じています。

### 行政・社協が取り組むこと

包括的な支援体制の構築や福祉サービスの質の向上と確保、効果的な情報発信等に取り組めます。また、虐待への対応や一人での意思決定が難しい人への支援など、権利擁護支援に取り組めます。

- 取り組み
- 1 多様な課題に対応する相談や支援体制の構築
  - 2 福祉サービスの利用支援
  - 3 権利擁護体制の強化

### チャレンジ事業

- 障がい者基幹相談支援センター、地域包括支援センターを中心とした各関係機関の連携
- 地域包括支援センターと地域相談窓口による相談支援
- 生活困窮者自立支援事業
- ひとり暮らし高齢者への宅配や昼食会などの充実

### しあわせみらいストーリー

地域では、家庭や子ども、高齢者、障がいのある人、外国人など、一人ひとりの状況に合わせた相談や支援が行われています。

## 基本目標 4

# 誰もが安心して安全に暮らせる環境づくり

## 環境づくり

### CASE 12

#### 地域活動に積極的なDさんの場合

地域のみんが防災訓練に参加するには



Dさんは自治会で防災訓練を担当しています。参加者は固定化され、現役世代や子どもの参加がない状況で、地域全体での備えや助け合いの意識が十分に浸透していないのではないかと不安に思っています。子どもや若い世代も一緒に参加できたら、災害時に助け合える力が育ち、地域のつながりも深まるのではと考え、みんなが関われる訓練の形を模索している状態です。

### 行政・社協が取り組むこと

日頃からの防災活動を充実し、意識向上を図るとともに、安心・安全に暮らせる地域の連携体制の強化を図ります。また、バリアフリー化の推進、移動手段の確保に取り組めます。

- 取り組み
- 1 地域における防災機能の強化
  - 2 誰もが暮らしやすい地域の環境づくり

### チャレンジ事業

- 総合防災訓練の実施
- 災害ボランティアコーディネーター養成講座の開催
- 車いすの貸し出し

### しあわせみらいストーリー

Dさんの地域では、学生ボランティアと協力したり、子どもも参加できるよう工夫した防災訓練を実施しはじめました。その結果、子どもの保護者など従来参加していなかった世代も訓練に加わるようになり、災害時に助け合える力が少しずつ育っています。

基本目標  
5

# 誰も自殺に追い込まれない地域づくり

## 自殺対策計画

### CASE 15

#### 中学生のCさんの場合

友だちの様子がいつもと違うときどうしたらいい



Cさんは、学校の友人が最近休みがちだったり、元気がなかったりすることに気づきました。少し前までは明るく話していたのに様子が少しおかしいと感じるものの、どう声をかけてあげればいいのかわからず戸惑っています。それでも、何もしないままでは心配だと思い、自分にできることは何かないだろうかと考えています。

### 行政・社協が取り組むこと

地域のつながりの希薄化や住民が抱える課題の多様化・複雑化が進む中、生きづらさや孤立を抱える人を支え、誰も自殺に追い込まれない地域社会づくりが必要です。自殺対策に関する正しい知識の普及や啓発、こころの健康を支える仕組みの整備を進めるとともに、支援に関わる人材の育成や関係機関のネットワーク強化により、市全体でいのちを守る体制の充実を図ります。

### 取り組み

1 生きることの促進要因を増やす支援

2 自殺を未然に防止する意識づくり

### チャレンジ事業

- ゲートキーパー養成講座の開催に向けた検討

### しあわせみらいストーリー

Cさんがスクールカウンセラーに相談したことで、関係者が働きかけを進めています。相談機関からは「身近に気にかけてくれる人がいることが大きな支えになる」といわれたため、スクールカウンセラーのアドバイスを受けながら、自分にできる形で寄り添おうと考えています。

## 尾張旭市成年後見制度利用促進計画

認知症や障がいにより判断能力が不十分であっても、その人らしくゆたかに生きる権利が守られることをめざし、市や関係機関などが以下の取り組みを実施します。

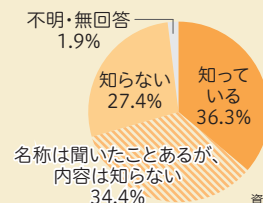
### 取り組み

- 1 権利擁護の意識醸成によるニーズの早期発見
- 2 権利擁護のネットワークづくり
- 3 本人や家族に寄り添う相談支援体制の確立
- 4 適切な権利擁護支援の実施

### 成年後見制度とは？

認知症、知的障がい、精神障がいなどによって、一人での判断や意思決定が難しい人や、金銭管理ができない人が地域社会に参画しながら、生活を継続できるよう支援する制度です。

### ◆成年後見制度の認知度



資料：市民アンケート

## 尾張旭市再犯防止推進計画

犯罪や非行をした人が、必要な支援を受けて社会復帰していることや、地域で再犯防止に対する理解が進み、再犯防止の支援の輪が広がっていることをめざし、市や関係機関などが以下の取り組みを実施します。

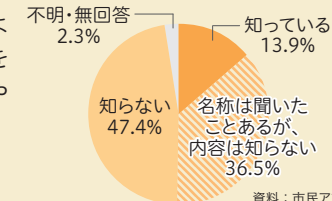
### 取り組み

- 1 就労機会・場の確保
- 2 居住支援
- 3 関係機関などとの連携強化・活動促進
- 4 広報・啓発活動の推進

### 再犯防止の取り組みとは？

犯罪をした人などが再び罪を犯さないように指導・支援する取り組みです。犯罪をした人などの立ち直りには、本人の努力や強い意思が大切なことはもちろんですが、再び罪を犯すことなく暮らしていけるよう、社会全体で支えていくことが重要です。

### ◆再犯防止の取り組みの認知度



資料：市民アンケート

# 校別アクションプラン

本市には9つの小学校区があり、小学校区ごとに地域課題や地域資源、地域活動などの状況が異なります。こうした地域の特性を踏まえ、各小学校区において、校区社協が中心となり、計画的に地域福祉活動を推進するため、「校別アクションプラン」を策定しています。

校区懇談会を開催し、「校区のめざす姿」や取り組みについて検討しました。



各小学校区の  
「校区のめざす姿」  
をみてみよう

## 城山小学校区

- ◆ 一致団結！三世代で思い出ができる 城山
- ◆ みんなでつくる安心・安全な明るい 城山
- ◆ 今日も元気、明日も元気 高齢者の笑顔あふれる 城山

## 旭丘小学校区

- ◆ 地域活動の担い手が循環する 旭丘
- ◆ 隣近所の“つながり”から“地域活動への参加”につなげる 旭丘
- ◆ 高齢者を見守り、支え合える安心・安全な 旭丘

## 東栄小学校区

- ◆ 高齢者が笑顔で過ごせる居場所のある 東栄
- ◆ こどもから高齢者まで地域活動を行う 東栄
- ◆ 「地域力」による防犯・防災力が高い 東栄

## 白鳳小学校区

- ◆ 地域行事には全員参加！顔見知りがいっぱいの 白鳳
- ◆ 高齢者を孤立させない つながりのある 白鳳
- ◆ 子育ての魅力のある 白鳳
- ◆ まずは自分から！防災・防犯意識の高い 白鳳

## 渋川小学校区

- ◆ 楽しい！参加したい！地域活動のある 渋川
- ◆ 和気あいあい 地域がつながる 渋川
- ◆ 高齢者になっても仲間がいる、居場所がある 渋川

## 三郷小学校区

- ◆ 町内会をひとつの家族に！地域のつながりが深い 三郷
- ◆ 負担が少なく、楽しく地域活動を進められる 三郷
- ◆ 思い出ができる 魅力的な地域活動のある 三郷

## 瑞鳳小学校区

- ◆ 「こども」を核とし世代を超えたつながりのある 瑞鳳
- ◆ みんなに役割があり、地域活動が活発な 瑞鳳
- ◆ 高齢者の生きがい 活躍の場がある 瑞鳳

## 本地原小学校区

- ◆ 向こう三軒両隣のきずながある 本地原
- ◆ 地域に笑顔があふれる 本地原
- ◆ 地域全体で高齢者やこどもを見守る 本地原

## 旭小学校区

- ◆ いきいきと笑顔で暮らす高齢者の多い 旭
- ◆ みんながあいさつし、ご近所の顔がみえる 旭
- ◆ 世代を超えて誰もが交流できる 旭

尾張旭市地域福祉計画〔概要版〕 令和8(2026)～12(2030)年度

発行：尾張旭市／尾張旭市社会福祉協議会

尾張旭市健康福祉部 地域福祉課  
〒488-8666 尾張旭市東大道町原田 2600 番地 1  
TEL：0561(76)8184 FAX：0561(52)3749

社会福祉法人尾張旭市社会福祉協議会  
〒488-0074 尾張旭市新居町明才切 57 番地  
TEL：0561(54)4540 FAX：0561(51)1880